

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



新型インフルエンザという不安要素の下での開催となる今回の冬コミ。でも、考えようによっては、全参加者が直接自分の事として同じ意識を持てる稀有な機会と言えるかも。これを機に、正しい準備とコミケット全体を思いやることのできる参加者になって、みんなでぽかぽかの冬コミにしちゃいましょう！

■■ 自分専用の快適環境を確保しよう ■■

ここ数年の間、比較的冬コミは環境に恵まれてきた。そうキツイ冷え込みもなく、雨も降っていない。しかし今回は『新型インフルエンザ』という明確な脅威が存在している。

寒い思いをする、雨に身体を濡らすといった事態はそのままインフルエンザ感染の原因に直結する以上、外的環境の優劣を問わず、全参加者は確実に自分の身を守る用意をして参加しなくてはならない。むしろ対策を行わない、徒手空拳の来場者は他の参加者全員にとって重大な脅威であり迷惑であると言っても過言ではないだろう。

全ての基本となる防寒・防雨対策を確実に行うことは最優先事項なのだ。

■ 寒くなく、そして暑くなく ■

コミケット会場という場所はどこで何をしているかによって体感環境が大きく変わる場所だ。早朝の入場待機は概ね耐寒訓練だが、入場以降は今居る場所、取っている行動によって暑いと感じることもあれば、寒い場合もある。待機列ではいい加減な防寒では低体温症などに陥りかねないし、混み合った会場内では着膨れているとうまく活動できない上に汗をかきやすい。

むやみと厚着をしていると汗の逃げ場が無いのでアンダーウェアが汗で濡れたままの状態となり、これは不快だけでなく一旦動くのをやめると急激に体が冷えることを意味する。動いたり止まったりを繰り返すコミケットではあまり歓迎できない状態だ。かといって暑いからと上着を脱ぐと今度は脱いだ物が邪魔になる……このあたりのさじ加減はなかなか難しい(※)。

そういったポイントを踏まえた上で、会場内で適切な防寒スタイルを考えてみよう。

※だからと言って『買った本も脱いだ上着も楽々収納できるキャリーバッグを引っ張って行けば万事解決！』とは考えないように。一般参加者のキャリーバッグは混雑した会場内では非常に危険な存在であり、曳いて歩くだけでも一苦労なので安易な気持ちで持ち込むのはおススメできないのだ。

●下着は汗を残しにくく、冷えない化繊をメインに。アンダーウェアで肌をしっかり覆っておけば、上に着るものは1枚少なくできるほど保温効果がある。かいた汗を速やかに外部に放出するもの、繊維自体が発熱するものなど、様々な機能性アンダーウェアが発売されているので自分の体質に合ったものを探してみよう。特に腰が露出すると体温を奪われやすいので**しゃがんだり座った姿勢でも腰が出てしまわない裾の長いものを選ぶのがコツ**だ。同様に靴下も厚め、長めのものを選ぼう。足首も露出すると身体を冷やしやすく、また捻挫などのトラブルも起こしやすくなるのでしっかり覆っておくのが基本だ。

女性陣はスカートでなくともストッキングやタイツの着用を、男性陣でもズボンの下に膝下丈ほどのロングアンダーを着用すると更に防寒効果が高く、身軽なスタイルが可能となるのでオススメ。

●長時間の屋外待機を覚悟しているならカイロは必須。1つを腰に貼っておこう。これだけで各段に温かくなる。逆に手に持っても体は温まらないので、冷え症の人は複数個用意していこう。ただしカイロは特に**トイレの際に落としやすいので要注意**。会場内のトイレでは万一便器の中に落としてしまったら、次の人の為に自己責任で必ず拾うこと。間違ってもそのまま流してはいけない。